

認知症ガイドブック構成案 1案

全体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症への対応の入口の部分で道しるべとなるような冊子にする ・ ページを絞りイラストや事例を盛り込み興味が湧くような内容にする ・ 状態に応じたサービスの全体像がわかり安心感につながる内容にする
対象とする読者のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご自身やご家族の将来の認知症に不安を抱いている方を想定

頁	テーマ	項目	伝えたいメッセージ(ねらい)	記載内容	担当委員
	表紙	タイトルとイラスト	安心感を与えるやさらかさ、優しさ、	みんなで支えているイメージイラスト	事務局
1	導入 認知症の基礎知識	認知症とは	初期のサインを見逃さないで	認知症？と気づく初期の症状 認知症の医学的解説	介護職・家族会 民生委員と事務局 で案作成 医師(確認)
2					
3		認知症予防 早期対応について	認知症予防は、特別なことではなく普段の生活から 早期対応の必要性	生活習慣病の予防、日常生活のこころがけ 早期からの適切なケアで症状軽減・進行抑制 治療によって治る認知症の紹介	事務局作成 医師(確認)
4					
5	医療機関のかかり方	医療機関の役割	まずは、かかりつけ医から 相談機関の利用も一つのルート	医療機関のかかり方のチャート図 各医療機関の役割・認知症の在宅医療	事務局作成 医師・薬剤師(確認)
6					
7	制度・サービスの紹介	地域包括ケア 介護保険サービス 区の事業やサービス	社会全体で認知症の人を支えます 認知症の人を支える地域づくり	地域包括ケアイラスト 介護保険サービス・区の事業の概要	事務局と介護保険課
8					
9		インフォーマルサービス	身近にある支援の存在を知ることによって安心感を	家族会・ケアカフェ等	家族会・民生委員 事務局
10	ケアパス (状態に応じた 支援の流れ)	練馬区版認知症ケアパス	状態に応じて利用できるサービスがある	ケアパス社会資源シートを見やすい形で掲載	事務局
11		生活事例	状態に合わせて支援を組み合わせることで 在宅での暮らしが続けられるイメージが持てる	①認知症への気づき ②老々介護 ③独居 ④若年性認知症 ⑤徘徊 記載方法のポイント(安心感を与えるために…) 1 問題があってもサービス利用で安定が図られている 2 本人目線で記載することで家族だけでなく、ご自身がなった 場合の安心を感じる 3 ポイント欄で内容を補う解説	介護職委員 事務局
12					
13	見開き				
14	認知症への気付き 相談先	認知症チェックリスト	気になったら、まずは、チェック	東京都認知症チェックシートを掲載	事務局 医師(確認)
		裏表紙	相談先	目につくところに相談先	窓口一覧